

Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

11月は「ロータリー財団月間」です
11月5日を含む1週間 世界インターアクト週間



「高野山 蛇腹道の紅葉」 写真提供:安井 史郎(河内長野高野街道RC)



イマジン
ロータリー

2022-2023年度 R I テーマ

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



目次

RI会長 11月のメッセージ	1
11月のガバナーメッセージ	2
ロータリー財団月間に寄せて	3
ロータリー財団月間	4
ポリオの再流行が根絶の必要性を浮き彫りに	5
ロータリー会員現況	6
ガバナー公式訪問	7-10
青森県大雨災害支援金報告	10
日経新聞にRCを紹介する広告が掲載	11
アニメ「ポール・ハリスとロータリー」	12

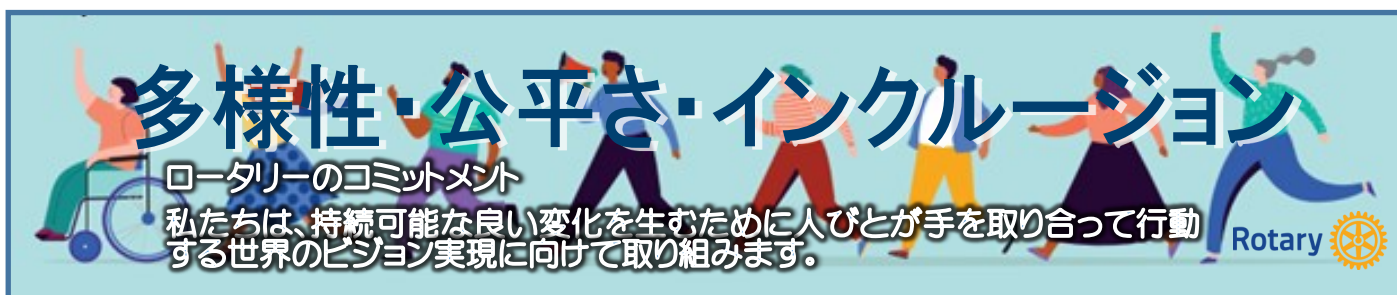
【RIニュース】

RI会長がポリオ根絶に1億5,000万ドル投入の誓約	13
ポリオ根絶の新兵器	14

【地区活動報告】

クラブ青少年関連委員長会議	15
長期派遣留学生オリエンテーション	16

地区大会記念ゴルフ大会	16
米山記念奨学生 研修旅行	17
インターアクト リーダーシップフォーラム	18
【クラブ活動報告】	
ひとり親困窮家庭に食料支援 和歌山アゼリアRC	19
堺市緑化祭での盲導犬啓蒙活動 堺中RC	20
ウクライナ避難女性が例会で卓話 和歌山城南RC	21
新会員の紹介 / 訃報	22
ハイライトよねやま Vol.271	23-24
コーディネーターニュース11月号	25-26
会員数報告(2022年9月)	27
My Rotary 登録状況(2022年10月)	28
11月の行事予定	29



ロータリーのビジョン声明

私たちは 世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

より大きな **インパクト**をもたらす
参加者の **基盤**を広げる
参加者の積極的な **かかわり**を促す
適応力を高める

ロータリーの中核的価値観

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ
Rotary 

心を込めてロータリーのストーリーを共有しよう

「イマジン ローターリー」と言われても、何やら大変な、難しいことのように思えるかもしれません。しかし核となるのは本当にちょっとしたことで、個人的なものであることもあります。

ロータリーの会員は自分たちの奉仕活動を黙ってすべきだと考えられていたのは、そう昔のことではありません。その考えはよく分かります。謙虚さは美德であり、私たちは謙虚であり続けるべきです。

しかし、ロータリーのストーリーを発信しないというのはもったいないことです。ロータリー・モメントを共有することにより、私たちは他の人にも寛大になり、ロータリーのインパクトを理解してもらう機会を与えることになります。

アメリカの活動家、マヤ・アンジェロウの含蓄深い名言が思い出されます。「あなたの言葉は忘れ去られることでしょ。あなたの行いは忘れ去られることでしょ。しかし、あなたが与えた感動は決して忘れ去られることがないのです」

それでは、どうすれば人々にロータリーの感動を与えられるでしょうか。一番良い方法は、ロータリー・モメントを共有することです。私たち一人一人がロータリー・モメントを体験しているはず。日常の日々の中で、何か偉大なことを成し遂げようという意志と出会う、というあの体験を。

それは初めて例会に出席した時だったかもしれません。そのような体験に気付くまで何年かかるかもしれません。奉仕した相手の目に浮かぶ喜びを見た時かもしれません。あるいは、他の会員から何か心に響くストーリーを聞いた時のことかもしれません。

夫のニックと私はこの旅を共にしてきましたが、人々の人生に変化をもたらす皆さんの活動には胸を打たれます。今年度は、この旅を有意義なものにしてくれた景色やストーリーを皆さんと共有していくつもりです。

皆さんも自分なりの方法でそうしていただけたらと思っています。例会やソーシャルメディアで共有してもいいですし、知識豊富で意欲的な人なら、地元のメディアを通してイベントを宣伝するのもいいかもしれません。ストーリーをご友人に話すだけでも、影響は広がります。

ロータリーのメッセージと、よりよい世界を目指す夢を世界に広めてくれるアンバサダーが必要なのです。最高のアンバサダーはロータリーの会員です。より多くの人が私たちと連携し、入会し、会員であり続けてくれるでしょう。

今後数カ月以内にこのコラムはロータリーの会員の皆さんのコーナーになる予定です。ロータリーの多様性、公平さ、インクルージョンに関する個人的なストーリーをここで発信してもらうのです。ロータリーの未来のために多様性、公平さ、インクルージョンが大事だと分かってもらうには、体験談を発信してもらうべきですから。

何に取り組むにしても、ロータリーの世間での受け止められ方が、私たちの未来を形作ることになります。皆さんが共有してくれるストーリーがどれほど多くの人にインスピレーションを与えることになるか、今から楽しみです。

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー (R I) 会長

R I 会長メッセージ

R I 指定記事



今後数カ月以内にこのコラムはロータリーの会員の皆さんのコーナーになる予定です。ロータリーの多様性、公平さ、インクルージョンに関する個人的なストーリーをここで発信してもらうのです。

追伸 11月にR Iのプログラムであるインターアクトは、誕生して60周年を迎えます。インターアクトの皆さまと応援してください。皆さまに深謝いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

PRESIDENT'S MESSAGE

ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

ロータリー財団月間に寄せて

ロータリー財団とは

〈ロータリー財団の父〉

ロータリー財団の父と呼ばれるのは6人目のRI会長アーチ・クランプです。1917年に当時の会長アーチ・クランプが米国ジョージア州アトランタの国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で何かよいことをしようではないか」と提案しました。数か月後にこの新しく誕生した基金がやがてロータリー財団に発展していきました。



1928年ミネアポリス国際大会でこの基金はロータリー財団と改称され、国際ロータリー内の別個の存在となりました。1928年にアーチ・クランプが思い描いたプログラムの多くは現在も生き続けています。

1987-1988年度国際ロータリー会長のチャールズ・ケラー氏は言っています。「奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆です。奉仕とは単によりよいことをするだけでなく、人々の役に立つことです。世界では人々が異なる言語を話し、異なる食事をし、異なる衣服を着て、異なる宗教を信奉しています。こうした人々を結びつけるのには強力な絆が必要です。ロータリーでは、その絆が超我の奉仕という理想なのです」他の人々の役に立つ具体的活動をしているのがロータリー財団です。

ロータリー財団のプログラムを各クラブの委員長さんの卓話等により理解していただき、円安が進む昨今ではありますが、

○年次基金寄付

目標 180ドル

○ポリオ・プラス基金寄付

目標 30ドル

ご協力をお願いいたします。



超我の奉仕
SERVICE Above Self

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

ロータリー財団月間に寄せて



地区ロータリー財団委員長 中野 均

ロータリー財団の標語は、「世界でよいことをしよう」であり、ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすること。」です。

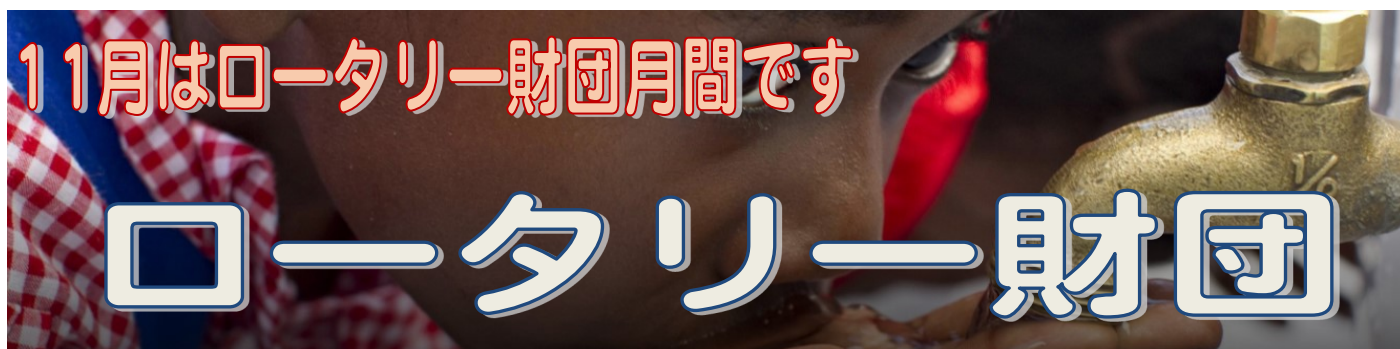


ロータリー財団は、ロータリアンである私たちの「寄付」を資金とし、財団プログラムへの参加によって地元及び国際社会に貢献しています。毎年ガバナーは、年次基金寄付「0」クラブ解消を目標の一つに挙げていますが、残念ながら昨年は、3クラブから年次基金寄付を頂くことが出来ませんでした。これは、34地区の中で当地区のみが達成できず財団委員長として他の地区に申し訳なく思っています。また、この3クラブの内、1クラブは、3年前もご寄付頂くことが出来ず、この年も日本全体のロータリークラブで唯一年次基金寄付「0」クラブを出してしまいました。11月は、ロータリー財団月間です。目標額は180ドルですが、可能な限り少しでも多くご寄付願い、集計でき次第ご送金賜りますよう宜しくお願い申し上げます。頂きました寄付金は、3年後、地区補助金として使用できます。地元地域等の奉仕活動資金の一部として活用して頂けます。

一昨年1月より、世界で猛威を振っている新型コロナウイルス感染症、ロータリーにとっても大きな試練の2年10ヶ月であったような気がします。例会も思うように開催できず、家庭での自粛活動が強いられたりしました。ロータリーの奉仕活動も対面で人と会うこともできず、中止を余儀なくされていましたが、ようやく全国旅行支援も始まり、海外からの入国制限も緩和されつつあります。各クラブにおいて、感染症対策をして奉仕活動がよりし易くなったと思います。

地区補助金申請は、23クラブからあり、先月より事業が開始されています。また、グローバル補助金奨学金も3名に交付され、イギリスへ2名、スイスへ1名が9月にそれぞれ出発しました。皆さま方から頂きましたご寄付は、このように活用されていますので、ご理解願い、ご寄付をお願い申し上げます。

公益財団法人 ロータリー日本財団



11月はロータリー財団月間です

ロータリー財団

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を
世界各地の奉仕活動に役立てています

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

ロータリー財団の歴史

1917年、当時のロータリー会長アーチ・クランフが、「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。このビジョン、そして26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人々の人生を変える財団へと発展しました。



ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

ご寄付が世界にもたらす影響

- わずか60セントで、1人の子どものポリオから守ることができます
- 50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます
- 500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます



EVERY
ROTARIAN
EVERY
YEAR

皆様のご理解
とご協力、ご寄付
をお願いします。





ポリオの再流行が根絶の必要性を浮き彫りに

ポリオウイルスが何年も発見されていなかった場所で、ポリオウイルスが見つかり、さらにポリオの感染が起きました。人間の病気を根絶することが簡単ではないこと、特に最終段階においてはそうであることが改めて示されました。

ここ数カ月、米国でワクチン未接種の男性に身体まひが生じました。英国では、下水からポリオウイルスが検出され、マラウイでは子どもがポリオに感染しました。また、モザンビークでは、30年ぶりにポリオが発生したと発表されました。

しかし、ロータリーと**世界ポリオ根絶推進活動**(GPEI)のパートナー団体は、今後もひるむことなく前進し、ポリオのない世界の実現という目標を達成できると確信しています。このような楽観的な見方には、いくつかの理由があります。

ワクチン由来の変異型ポリオを引き起こすリスクが大幅に低減された新しい経口ワクチンが利用可能となりました。これにより、予防接種レベルが低い地域で、ワクチンの弱毒化したポリオウイルス株の変異によって感染が起きる可能性が低くなります。さらに、ポリオウイルスの感染が続いている常在国(パキスタンとアフガニスタン)では、野生型ウイルスによる感染者数が歴史的に低い水準で推移しています。これは、野生型ウイルスを根絶する大きなチャンスとなります。

ここまで来るのに、ロータリーの粘り強さが非常に大きな役割を果たしました。GPEIパートナーの決意と合わせて、根絶を果たすために必要なのは粘り強さです。「今年、私たちはポリオ根絶活動を継続する重要性を学んだ」と、ロータリーのポリオプラス委員長であるマイク・マクガバン氏は述べます。「ロータリアンは、資金調達と認識向上の取り組みをさらに強化する必要があります」

ロータリーの会員は、30年以上にわたり、ポリオ根絶のための世界的な活動の中心的存在となってきました。1985年にポリオプラスを立ち上げ、1988年には史上2度目となる人類の疾病の根絶を目標に、GPEIの設立を支援しました。GPEI

の設立当時、野生型ポリオウイルスによって毎日何百人もの子どもたちに身体まひが生じ、1年間に125カ国以上で推定35万人のポリオ患者が出ました。その後、感染者は99.9%以上減少し、推定2,000万人以上が身体まひから救われたとされています。

ロータリーは、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団との協力の下、毎年1億5,000万ドルをポリオ根絶に充当しています。ロータリー会員は、ポリオ根絶活動に26億米ドル以上を寄付し、数え切れないほどのボランティア時間を費やしてきました。GPEIのパートナー団体とともに、会員は各地の地域社会で高い予防接種率を目指し、毎年4億人以上の子どもたちに予防接種を提供しています。

野生株ポリオの発症がゼロに近づくなか、公衆衛生の専門家は、ポリオのない地域を含め、どこにでも発生する可能性のあるすべての形態のウイルスを追跡することが重要であると述べています。また、長年ポリオが起きていなかった場所でのポリオ再発は、ポリオを含む多くの疾病から身を守るワクチン接種の重要性を浮き彫りにしました。一部地域で予防接種率が低下している中、予防接種を人びとに呼びかける活動への注目も高まっています。どこでもポリオが発症するリスクを認識した今、ポリオ根絶活動の重要性を再認識する必要があります。

10月24日の世界ポリオデーが近づく中、ロータリー会員には、予防接種の重要性を地域社会に伝えることが奨励されています。また、世界的な支援者や各国政府による、GPEIの2022-26年ポリオ根絶戦略への新たな資金提供の発表が予期されます。この戦略は、野生型ポリオの根絶と変異型ポリオウイルスによるポリオ発生をなくすための活動について、各国政府がより大きな説明責任を果たすことを主眼としています。

持続的な政治的・資金的コミットメントがあればこそ、世界は今後も、ポリオのない世界の実現に向けて前進していくことができるでしょう。

<https://polioeradication.org/>



ロータリー会員現況

ロータリーとローターアクトクラブの両方でクラブ数が増加したこと、また、会員にとっての「居心地のよさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最良の要因であることをご存知ですか？ [最近改訂されたロータリー会員現況のプレゼンテーション](#)で、最新の会員傾向をご覧ください。15枚のスライドから成るこのプレゼンテーションには、7月1日現在の会員データが反映されています。ほかの会員とシェアしたり、地元用に自由にカスタマイズしたりすることができます。

会員増強目標の設定に関するウェビナー（英語）に関心のある方は、[こちらから録画](#)をご覧ください。また、会員増強のアイデアに関するウェビナー（英語）が、シカゴ時間の11月9日（水）午前11時（日本時間は10日午前2時）に行われます。関心のある方は、[こちらからご登録](#)ください。登録者全員にEメールで録画をお送りします。

【ガバナー公式訪問】

和歌山アゼリアロータリークラブ

2022年10月3日(月)

会長 梅田 千景

幹事 井上 晴喜



高石ロータリークラブ

2022年10月4日(火)

会長 淡野 勝也

幹事 大子 修



有田2000ロータリークラブ

2022年10月5日(水)

会長 芝 毅

幹事 森 誠



和泉南ロータリークラブ

2022年10月6日(木)

会長 髭 奉昭

幹事 畑中 宏文



海南西ロータリークラブ

2022年10月6日(木)

会長 河野 孝

幹事 高田 博司



【ガバナー公式訪問】

堺フェニックスロータリークラブ

2022年10月8日(土)

会長 可須夢 阿努羅芙万

幹事 石田 順裕



貝塚コスモスロータリークラブ

2022年10月12日(水)

会長 井谷 隼人

幹事 川崎 晃生



羽曳野ロータリークラブ

2022年10月12日(水)

会長 山本 正明

幹事 細木 博



大阪金剛ロータリークラブ

2022年10月13日(木)

会長 竈 和夫

幹事 高橋 重明



Rotary E-club Sunrise of Japan

2022年10月17日(月)

会長 新居田 章

幹事 西川 徹



【ガバナー公式訪問】

海南ロータリークラブ

2022年10月19日(水)

会長 名手 聡

幹事 上芝 孝充



御坊東ロータリークラブ

2022年10月19日(水)

会長 栗林 久一

幹事 山本 敦弘



堺中ロータリークラブ

2022年10月20日(木)

会長 富田 康則

幹事 柿木 大造



太子ロータリークラブ

2022年10月24日(月)

会長 間宮 美穂

幹事 塚本 昇平



新宮ロータリークラブ

2022年10月26日(水)

会長 福田 一郎

幹事 瀬古 伸一郎



【ガバナー公式訪問】

那智勝浦ロータリークラブ

2022年10月27日(木)

会長 庵野 了嗣

幹事 森岡 一郎

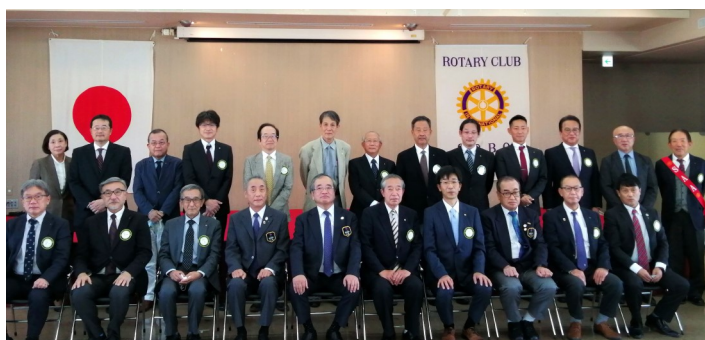


御坊ロータリークラブ

2022年10月28日(金)

会長 平野 恵一

幹事 出石 亮太



和歌山北ロータリークラブ

2022年10月31日(月)

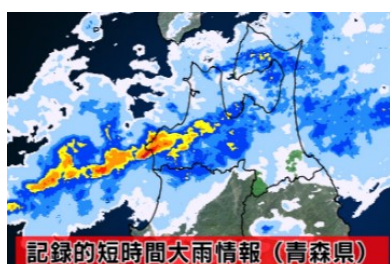
会長 平山 裕次郎

幹事 岡田 義典



青森県大雨災害支援金報告

2022年8月3日からの大雨により、河川の氾濫による冠水被害や土砂崩れによる大きな被害をもたらした「青森県大雨災害」に対し、現地の第2830地区へ、当地区に寄せられた地区内の43クラブからの支援金 1,224,956円を送金させていただきました。被災地の早期復興をお祈りします。



アニメ「ポール・ハリスとロータリー」全12話

ロータリーの友では、2020-21年度にポール・ハリスの半生と、ロータリークラブ創設までをコミックとして連載しました。

アニメ(動画)は友ウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>

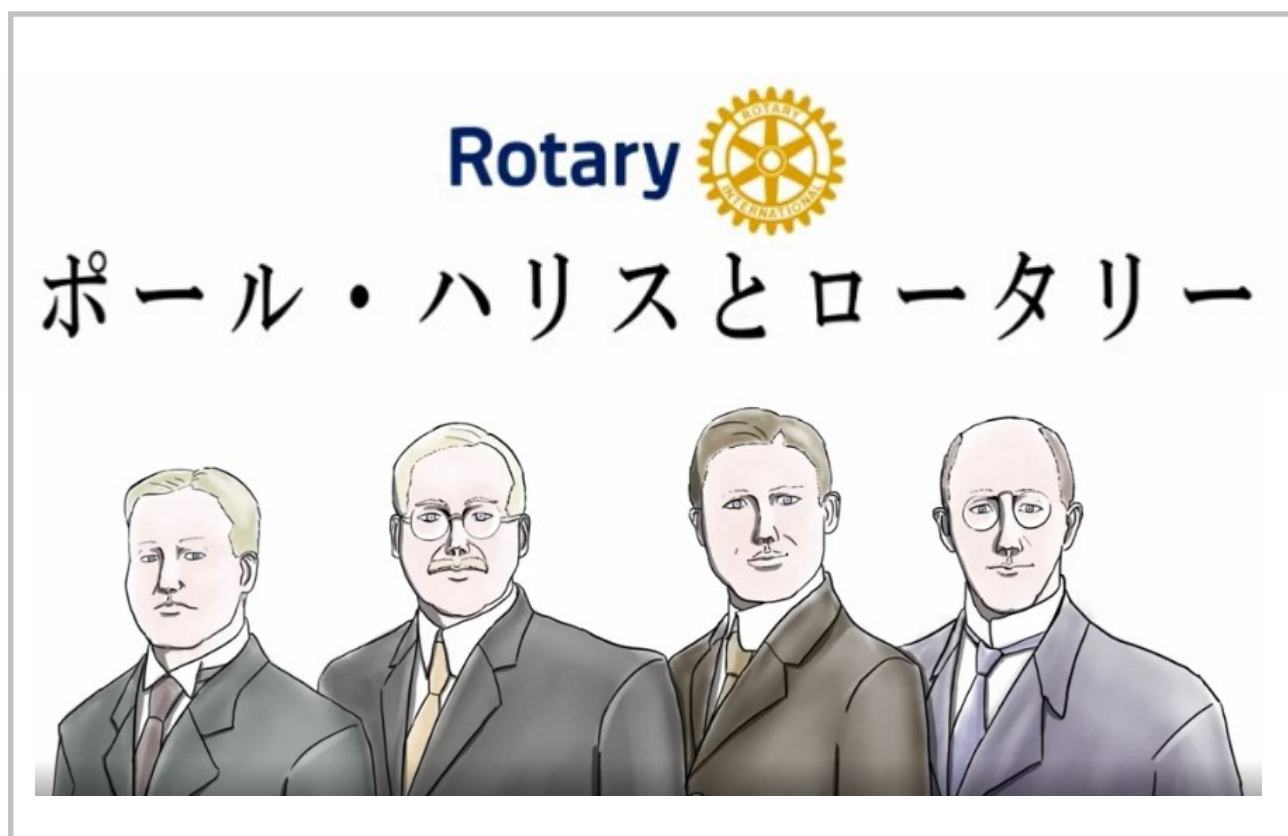
原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』

監修 安平和彦

(2002-03年度第2680地区ガバナー)

作画 齋藤友紀

制作 株式会社アイディ



国際ロータリー ポール・ハリス:ロータリー創設者

<https://www.rotary.org/ja/history-paul-harris-rotary-founder>

【RIニュース】

ジェニファー・ジョーンズRI会長が

ポリオ根絶に向けた1億5,000万ドルの誓約を発表



国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、9月24日に開催されたグローバルシチズン・フェスティバルのメインステージに登場し、ポリオ根絶に対するロータリーの取り組みを紹介するとともに、根絶に向けてさらに1億5,000万米ドルを投入することを発表しました。ニューヨークで6万人、インターネットやテレビで数万人を前に講演したジョーンズ会長は、最近ニューヨーク州知事が、同地域でのポリオ再発を受けて非常事態宣言を出したことに言及しました。

ジョーンズ会長は、ポリオはワクチンで予防できること、そして野生型ポリオウイルスによる感染はアフガニスタンとパキスタンの2カ国のみで起きていることを強調しました。これらの地域で母親と信頼関係を築き、子どもたちにワクチンを接種するには、女性のワクチン接種者が不可欠です、しかし、ときには嫌がらせや襲撃に遭うこともあります。

パキスタンでは、「最前線で活動する女性の保健員が毎日危険にさらされている」とジョーンズ会長は話します。「彼女たちは、障壁があっても、最後の一人の子どもにポリオワクチンを届けるまで全力を尽くしています」。予防接種プログラムでは、地元の警察・政府と協力し、保健員の安全確保にあたっています。

会長はまた、コロナ禍によって一部の国でポリオの予防接種が中断された影響について話しました。2021年には、約2,500万人の子どもたちが、欠かすことのできない予防接種を受けられなかったことを指摘。「世界はこの疾病を大幅に撃退してきましたが、さらに努力を重ねる必要があります」と会長は述べました。ジョーンズ会長が発表した追加資金は、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)に充てられます。GPEIは8月、2022-26年のポリオ根絶戦略のための新たな資金拠出を求めていると発表しています。「私たちは、これをきっかけに、このイニシアチブの48億米

ドルの資金目標達成に向けた大規模な取り組みを開始したいと考えています」

ロータリー会員は、30年以上にわたり、ポリオ根絶のための世界的活動の中心的存在となってきました。当時、125カ国以上で1年間に推定35万件のポリオ感染があった中、ロータリーは1985年にポリオプラスを立ち上げ、1988年にはGPEIの設立を支援しました。それ以来、ポリオの発症数は99.9%以上減少し、2,000万人以上が身体まひから救われたとされています。ロータリーは、約30億人の子どもたちにポリオの予防接種を行い、世界のポリオ根絶活動に26億米ドル以上を寄付し、支援国からの100億米ドル以上の資金確保に貢献してきました。

毎年開催される音楽の祭典「グローバルシチズン・フェスティバル」は、世界のリーダーたちに極度の貧困の撲滅、気候変動への対策、女兒・女性のエンパワメント、制度的障壁の撤廃を要請しています。ニューヨークとガーナのアクラで開催された今年のフェスティバルでは、世界のリーダーたちに、女兒・女性の未来に6億米ドルを投資し、100億米ドルの気候変動による不足分を縮小し、アフリカの農民が飢餓に対応するための5億米ドルを提供するよう呼びかけました。ジョーンズ会長は人びとに参加を呼びかけました。「世界市民の皆さま、10月に開催される世界保健サミットで、ポリオ根絶へのコミットメントを、政府や企業、その他のリーダーに呼びかける手助けをお願いします」

ロータリーは10年以上にわたってグローバルシチズンと連携し、主にポリオ根絶活動のために協力してきました。昨年、フランスのパリで開催されたイベントでは、ジョーンズ会長が、持続可能なプロジェクトのために9,700万ドルの誓約を発表しました。2012年にニューヨークで開催されたコンサートでは、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長が、ポリオ根絶のために7,500万ドルを投入することを発表しました。ロータリーとグローバルシチズンは、ロータリー国際大会、英連邦首脳会議、ポリオのアドボカシー行事、ポリオのファンレイジングの発表の場でもつながりを強化してきました。

【RIニュース】



ポリオ根絶の新兵器

根絶へとさらに近づくための改良型ワクチン

2017年半ば、ベルギーのアントワープ大学病院の駐車場に組み立てられた輸送用コンテナの輪の中で、見知らぬ15人の二つのグループが28日間ずつ共同生活を送りました。彼らは本や映画、バーベキューができる小さな中庭、共同のキッチンとダイニングルーム、フィットネスルームを利用できましたが、そのすべてが安全なインターロック式ドアの向こうで、保護ガウンを着た職員の監視下に置かれました。

このサイエンスフィクションのような設定は、ポリオ根絶のための最新兵器である新型経口ポリオワクチン2型(nOPV2)の臨床試験でした。この研究の目的は、約60年の間で初めて主要な改良が行われたポリオワクチンによって、変種ポリオウイルスとして知られるワクチン由来ポリオウイルスの感染が抑えられるかどうかを評価することでした。ワクチン由来ポリオは、経口ポリオワクチンに含まれる弱毒化した生ウイルスが、ワクチン接種率の低い地域で循環し、ワクチンを十分に受けていない人に感染しうる危険な形態に変異した場合に稀に発生します。

ロータリーと協力団体がポリオ根絶をめざす世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)において、この20年間に発生している変種ポリオウイルスが大きな障害となっています。ポリオの発生は、数千年の間、自然界を循環し、現在もアフガニスタンとパキスタンの2カ国にある野生型ポリオウイルスが引き起こすものとは異なります。しかし、結果は同じです。どちらの種類でも、稀にウイルスによって身体まひが引き起こされます。

2011年、GPEIのパートナーであるビル＆メリンダ・ゲイツ財団のスタッフは、従来の経口ワクチンに含まれる生ウイルスに手を加え、変異する能力を抑えることはできないかと考えていました。「最初の課題は、純粋に科学的なものでした」と、この取り組みに資金を提供し、主導したゲイツ財団のポリオチーム副ディレクター、Ananda Bandyopadhyay氏は話します。「どうすれば、ワクチンの免疫原性(免疫反応を引き起こす能力)を損なうことなく、遺伝的に安定したワクチンを作ることができるのか。それは本当に、本当に難しいことでした。

この場合、研究者はこのアイデアをどのように検証するかを考えなければなりません。どのような試みでも、研究参加者を厳密に隔離する必要があります。2015年にブリュッセルで開かれた会議で、Bandyopadhyay氏は、アントワープ大学ワクチン評価センターのPierre Van Damme所長に、この大胆なアイデアを伝えました。「非常に創造的でなければなりませんでした」と、ベルギーでVan Damme氏と共に臨床試験チームを率いることになるIlse De Coster氏は言います。「当時は封じ込めのために開発された施設を持っていなかったからです」

詳しくは、<https://www.rotary.org/ja/new-weapon-against-polio>

ポリオのない世界を実現するため、支援にご協力ください

【地区活動報告】

クラブ青少年関連委員長会議

地区は、10月2日(日)、和歌山市でクラブ青少年関連委員長会議(ZOOM併用)を開き、危機管理について、勉強しました。



危機管理計画が必要な理由

すべての活動には、基本的にはリスクが伴います。青少年プログラムの参加者が関わる活動は特にそうです。青少年は危機的な状況において特に被害を受けやすいため、各地区において危機対応計画を講じる必要があります。

計画は危機の発生に先立って立てましょう。危機はほぼ想定外に発生し、その影響は急速に拡大します。緊迫した状況下では、迅速な対応や適切な判断が難しくなります。防げる危機もあれば、避けられない危機もあります。

よって、特に青少年が参加する場合は、万一の事態における手順をまとめておくことが、危機が健康や安全、セキュリティに与える影響を最小限に抑え、地区の評判へのリスクを軽減するうえで最善です。ベストプラクティス、最善の方法を考えておかなくてはならないと思います。

7月10日、2022～23年度RI第3地域ロータリー戦略計画推進セミナーが開催され私は今年度戦略計画副委員長を承っており参加させて頂きました。東京でのライジェムの会議も同日開催され、委員長として参加しなくてはなりませんでしたが、基調講演の黒田様の「ロータリーと危機管理」のお話をお聞きしたく、参加させて頂きました。黒田様の話は何度もお聞きする機会がありまし



地区危機管理委員会委員長 藤井 秀香

たが、毎回感銘しご指導を受け学ばせていただいております。

昨年9月24日兵庫の7名のロータリアンの4名の女性への強制わいせつ行為事件私達は報道により知り、噂も広がりました。ロータリークラブの公共イメージを回復するには時間がかかるなと思いました。



黒田様のお話をお聞きして事実を知り、2640地区の会員の皆様にもお聞かせしたいと強く願いました。

「各クラブに危機管理委員会を設置してください」と去年の福井委員長もおっしゃっておられました。その委員会には、弁護士、医師を配属し、外部からも入っていただくことを推奨しておられます。皆様のクラブには、委員会はできましたでしょうか。

今回の事例に触れその時、委員会はどのように動いたのか？弁護士でも有られます、黒田先生には、お忙しい中、快くZOOMでの講演が実現しました。緊張感を持たなくてはいいけない事を、学ばせて戴きました。



【地区活動報告】

長期派遣留学生オリエンテーション

地区青少年交換委員会

地区は、10月9日(日)、和歌山市で第2回長期派遣留学生オリエンテーションを開きました。



rotary
youth
exchange



地区大会記念ゴルフ大会

地区大会記念ゴルフ大会実行委員長 和田 耕司

10月18日(火)本年度地区大会記念ゴルフ大会を有田東急ゴルフクラブにおいて開催いたしました。ブルーコース19組、レッドコース18組、総勢143名のご参加をいただき、無事に終了致しました。

当日は、さわやかな秋晴れに恵まれ、皆さん楽しく、元気にプレーすることができたことと思います。今年度は、コロナ感染対策もあり、プレー終了後の表彰式は実施できませんでしたが、ドラコン賞・ニアピン賞・BB賞・BM賞のほか、75歳以上の「ゴールドシニア賞」、女性対象の「レディース賞」、ゾロ目賞、ガバナー賞、ゴルフ大会実行委員長賞、イチニサン賞、ポリオデー賞などたくさんの賞をもうけさせていただきました。

プレー終了後は、ゴルフクラブ内のレストランで軽食をとっていただき、参加いただいた会員皆様の親睦交流も行われた大変有意義な大会になったことと思います。ご参加いただきました会員の皆様並びに、大会運営に関わった皆様のおかげで無事終了できましたことに深く感謝申し上げます。

《ゴルフ大会結果》

優勝 新藤 整市(田辺RC) 準優勝 浅野 恭行(和泉RC) 3位 田邊 昌也(和歌山北RC)

レディース優勝 廣瀬 詩織(和泉南RC) ゴールドシニア優勝 岩崎 昭(和歌山北RC)



【地区活動報告】

米山記念奨学生 研修旅行



地区米山記念奨学委員長 玉井 洋司

地区米山記念奨学委員会では今年度も米山記念奨学生に研修旅行を10月22日・23日の両日実施しました。

奨学生に地区内の歴史文化を知ってもらうために和歌山市西国33番札所の紀三井寺、和歌山マリーナシティ、醤油発祥の地である湯浅では国の伝統的建造物群保存地区に指定されている地区内の醤油倉を研修しました。その後白浜温泉の景勝地や観光地を巡りました。1泊2日の行程で奨学生の地区内の歴史、文化の理解度が向上したと思います。



【地区活動報告】

インターアクト リーダーシップフォーラム



地区インターアクト

10月23日(日)10時30分～12時30分、高野山大学において、IACリーダーシップフォーラムを開催いたしました。

リーダーシップフォーラムは、各インターアクトクラブのリーダー・次期リーダー等が集まり、今後のクラブを担うにあたっての有益な学びを得ることを目的としたものです。今回はコロナ対策で午前のみで開催のため、それぞれ4～5人ずつの班に分かれて、「売り場を考えよう」という題材のワークショップが行われました。



ワークショップの内容は、中部国際空港セントレア内の売店で、社員、パート、アルバイト等をどのように配置するか、赤福、味噌煮込みうどん等の商品をどのように配置するか、広告費はどうするか、といったことを、各班で議論し最後に報告するというものでした。

ビジネスの基本になるようなブレインストーミングが、それぞれの班で楽しく活発に行われ、大変会話が弾んでおりました。このような答えのない問題をしっかり考える機会は大変有意義なものであると感じました。

ちなみに、売店の一番目立つところに置かれる商品は、どの班も「赤福」でした。「赤福」ブランドは強いです。今回のリーダーシップフォーラムの開催にあたり、ご尽力いただきましたすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。



写真提供 地区幹事 濱田 雅嘉(和泉RC)

【クラブ活動報告】

ひとり親困窮家庭に食料支援

長引くコロナ禍で時短や失業などにより経済的に厳しい状況に置かれている乳幼児から高校生のお子さんがあるひとり親家庭に食料支援をと昨年度(2021~2022)青少年奉仕事業として計画しましたが、コロナ感染者が治まらない中、実行を断念せざるを得ませんでした。

当クラブのモットーは、私達の地域が災害に見舞われたり、災厄が降りかかったりした時は、何を置いてもまず罹災したわが地域の人々に手を差し延べなければならない、地域ファーストがわがクラブの奉仕の原点です。

その理念の下に2022~2023年度の梅田会長を先頭にわがクラブの創立25周年記念奉仕事業にしようと決定し取り組むことになりました。記念奉仕事業にすることにより予算が大きくなりました。

新米3t(5kg/家庭)、図書券(文房具購入可)、乾麺、レトルトカレーなど計5,000円相当の品を600個お配りすることになりました。まずひとり親家庭に広報するのに和歌山市にお願いし、ひとり親家庭児童扶養手当更新に来られる受付カウンターの横に引換券付きチラシを置かせてもらって、この事業をお知らせしました。食



和歌山アゼリアロータリークラブ



料の運び込み、袋詰め作業、そして10月8日~10月11日の食料手渡しへとクラブが一丸となって、会員のほとんどが携わりました。

この事業の終了後日、母子家庭のお母さんからメールが届きました、「このたびは、ご支援いただきありがとうございました。仕事、育児、コロナ禍のストレス、自分の時間もなくて日々の生活の疲れから、心も身体も疲れ果てていました。支援の品を子供と開けて、とてもうれしく喜んでいきます。(中略)最近、色々に対して限界がきていました。皆様のあたたかい心に触れ、また頑張っていきます。名前も名乗らず失礼しました。本当にありがとうございました。」(原文通り)

この一通のメールで一同苦労も報われた思いです。少しの食料ですが、明日への希望を持ってほしいものです。

この感動を忘れず、次なる奉仕に繋げよう！

[和歌山新報](#)、[テレビ和歌山ニュース](#)に掲載されました。

【クラブ活動報告】

堺市緑化祭での盲導犬啓蒙活動

堺中ロータリークラブ

社会奉仕委員長 間下 敦司

2022年度も堺中ロータリークラブでは日本ライトハウス盲導犬訓練所様とタッグを組んで活動をしています。ここ数年のコロナ禍で開催が見送られていた「堺市緑化祭」が2022年10月23日(日)に開催となり、その催しとして盲導犬ふれあいコーナーとチャリティーグッズ販売をすることになりました。



我がクラブのメンバーで朝8時に集合しテント設置などのブース設営を行い、10時の開会から16時の閉会まで盲導犬啓蒙活動とブースの管理を行いました。当日は秋晴れの中多くの市民が参加し、近隣の方は犬の散歩がてら立ち寄るなど、賑わいを見せていました。



ブースにもパピーウォーカーの方をはじめ、多数のボランティアさんのご協力も有って、盛況に一日を終えることが出来ました。我がクラブのメンバーで慣れないながらもブースの設置や片づけを協力して行うことで一体感の出来た良い活動になったと思います。



盲導犬訓練所

日本ライトハウス

NIPPON LIGHTHOUSE GUIDE DOG TRAINING CENTER

<http://www.guidedog-lighthouse.jp/>


【クラブ活動報告】

ウクライナ避難女性が例会で卓話

和歌山城南ロータリークラブ

【読売新聞オンライン】から

10月6日(木)、和歌山市内のホテルで行われた和歌山城南ロータリークラブの例会で、初めてゲスト卓話。会員約30人を前に英語でスピーチを行いました。



ロシアのウクライナ侵略が続く中、戦火を逃れ、和歌山市で新生活を送るアレクサンドラ・ニコリッチさん(23)。アレクサンドラさんはウクライナ南東部ザポリージャ州の出身で、両親と3人で暮らしながら大学院で英語とペルシャ語を学んでいました。2月末の攻撃から約2週間がたった頃、ニュースで、日本語学校の有志でつくる「ウクライナ学生支援会」(大阪市)が避難民の受け入れ支援を行っていることを知りました。自宅

は露軍が占拠するザポリージャ原発の近くにあり、現在も砲撃が続いています。上空を飛んでいくミサイルを見て、とにかく逃げようと決意。同会と連絡を取り、ポーランドを経由して4月、1人で来日しました。

現在は、「特定活動」の在留資格を得て、和歌山市が受け入れ、「ウクライナ緊急支援」と称したふるさと納税を活用。市営住宅の無償提供、光熱費や水道代の全額免除、生活支援金などを受けて生活しています。また、アルバイトをしながら、週に4日、市内の語学学校「和歌山グローバルビジネスカレッジ」で日本語を学んでいます。

アレクサンドラさんは、恥ずかしがり屋で、人前で話をするのは苦手。でも「日本の人々に感謝を伝えなかった」と今回の卓話。「先のことは全く見通せないが、日本の人々は親切に接してくれた。もっと日本について学んで、将来はウクライナとの懸け橋になって恩返しをしたい」とは語りました。

新会員の紹介

	クラブ名	高石ロータリークラブ		クラブ名	田辺ロータリークラブ
	氏名	やまと なおのぶ 倭 直延		氏名	すずき やすお 鈴木 康夫
	職業分類	電力供給		職業分類	自動車整備
	生年月日	1970年9月24日		生年月日	1973年10月28日
	入会年月日	2022年9月5日		入会年月日	2022年9月1日

	クラブ名	和歌山東ロータリークラブ	ローターリーへようこそ！ 多様な会員が 集まるクラブに 		
	氏名	たなか ひでかず 田中 秀和			
	職業分類	内装仕上工事業			
	生年月日	1969年11月1日			
	入会年月日	2022年9月1日			

奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリークラブの魅力は、職業やビジネスで活躍する会員と出会い、いっしょにリーダーシップを発揮しながら、地元のために活動できることです。例会で情報を学んだり、アイデアを持ち寄って奉仕プロジェクトを計画したり、楽しく活動する中で生涯にわたる友情が育まれるでしょう。以下をはじめ、さまざまな方法でクラブに積極的に参加してみましよう。

言 ト 幸 反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

御坊ロータリークラブ



しおじ りょういち
塩 路 良 一 様

2022年9月14日 逝去

在籍期間 47年
職業分類 林業
表 彰 PHF+② ベネファクター
米山功労者⑥



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

271

2022年10月13日
発行

1. 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

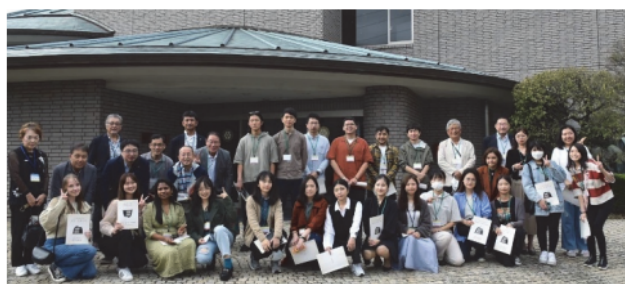
1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月では各

クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障

があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。



2. 米山のルーツを訪ねる



9月24日から25日にかけて、第2790地区(千葉県)米山学友会主催で、「米山梅吉記念館探訪旅行」と題し、23人の学友・奨学生を含む27人が記念館を訪問しました。ほとんどの奨学生・学友にとって初めての記念館訪問で、梅吉翁の生涯、奉仕の精神に触れ、奨学生からは「米山奨学生になることができて光栄」、「平和な社会を築くために、米山梅吉のような人になりたい」といった声が多くあったとのこと。

また、2日目には東京へ戻り、サントリーホールにて「交響詩・古事記『一粒萬倍 A S E E D』五穀豊穡の物語」を観覧。「万物は一つに

つながっている」というテーマである物語を通じて、歴史の体験をしました。

同学友会副会長のグエン ビッグ フォンさん(2020-21/我孫子RC)は、「コロナ禍の影響でずっと活動が少なく、米山梅吉記念館も行ったことがなかったので、奨学生の皆さんと同じく新鮮な気持ちで参加しました。ロータリアンの方々と交流ができ、日本文化を勉強でき、新たな仲間もたくさんできました。米山奨学事業への理解、異文化理解について、より深まったと感じています。お世話になった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです」と、述べました。



ぶどう狩を楽しむグエンさん(中央)と奨学生

3. 映像で体感する米山奨学事業

米山奨学会では、公式の YouTube チャンネルにて、米山に関する動画を順次更新しています。

今年、新たに3人の親善大使の自己紹介動画、そして2760地区の奨学生選考過程に密着した、「よねやまに魅せられてーロータリアンの想いー」を公開しました。引き続き、米山奨学事業について、文字や写真のみでなく映像でも皆さまにお届けできるように努めてまいります。例会やセミナーなどで、YouTubeを活用し



て、気軽に上映していただくことが可能です。また、ご希望があれば映像をDVDとしてお送りさせていただきます。希望される方は当会の広報までご連絡ください。

4. 寄付金速報 — 年に1度の米山月間 —

前年同期比

+ 22.6%

普 - 1.9% 特 + 59.9%

9月までの寄付金は、前年同期と比べて22.6%増（普通寄付金：1.9%減、特別寄付金：59.9%増）、約7,760万円の増加となりました。今月の特別

寄付金の大幅増は、267号で紹介した米山学友、周順圭さん（1962-63：東京西RC、1963-65&

66-68：東京世田谷RC）の約6,890万円のご寄付が当会に入金されたためです。皆さまの多額のご寄付とお気持ちに、改めて厚く御礼申し上げます。

また、東京城北RCの元会員、故飯島英夫氏のご遺志を継いで、令夫人の喜与子氏から昨年度いただいた1,000万円のご寄付に対し、9月30日、同クラブ例会にて、相澤光春副理事長から喜代子氏へ感謝状と特製盾を贈呈しました。

5. 夏のワークショップ in 浦項

8月27日、韓国米山学友会主催「夏のワークショップ in 浦項」が慶尚南道浦項市の浦項工科大学にて開催され、総勢16人が参加しました。

今回のワークショップは1泊2日の日程で、一般に立ち入ることができない大学内の放射光加速器等の研究所を訪問し、施設内の見学をしました。同学友会のワークショップは、メンバ



ワークショップの合間にカフェで一息

一同士の親睦と新たな知識共有の場として、7年前から毎年2回ほど開催しています。また、同学友会では、2016年から在韓日本人留学生への奨学金支援も毎年行っています。

広報担当の金珉庭さん（2005-06／吹田西RC）は、「韓国で活躍している米山学友が研究、経済、情報などを共有できる学習の機会を提供するとともに、学友間の更なるコミュニケーションの場を設け、来韓した日本人留学生との密な交流を目指しています。今回は日本人留学生の参加は1人でしたが、今後は多くの日本人留学生が参加し、情報共有や相談ができ、勉学はもちろん、韓国での生活の活力になるような場にしていきたいです。私たち学友会は、さらに交流の輪を広げ、絆を深めることを第一に、さまざまな活動をしてまいります」と述べました。なお、韓国学友会は11月26日に総会を開催予定です。

第3地域 コーディネーター補佐

安増 惇夫(宗像RC)

私の所属する2700地区は、21年に「地区戦略計画委員会」にて、「2700地区RAC活性化対策」に取り組み、地区RA委員会、地区RAC、等々の関係する委員会等で検討し、下記のように「2700地区RAC諸規定」を定め、7月1日に遡って発効しました。少しずつですがその好結果が見えだしたので、「皆様の参考にもなれば」と考え、この欄にて紹介させていただきます。(掲載文字数の制限で、一部簡略・省略しています)



1.地区内のRACはそれぞれ一つの独立クラブと認識し、地区との包括的連携団体とします。そのために、青少年奉仕部門から分離し、地区RA委員会と相互に連絡を取りながらRACの維持と活性化を図ることになります。

2.地区内のRACは、「自立したRAC」を目標として活動し、【常に会員増数に努力し、「提唱型RAC」「独立型RAC」は勿論、「地区支援型RAC」も、「RACから発展した衛星クラブ又はロータリークラブ」への移行を目指すか、RA卒業後に アドバイザーの勤めるロータリークラブ会員又は「ロータリーフェローズ2700」の会員になることを目指してください。

3.2022年度から2700地区RACとして、地区組織からは別組織となりますが、双方は包括的連携協力を維持するために、指定する(省略)地区委員会に地区委員を所属させるとともに、地区主催の「地区研修・協議会」には、定められた方法で出席してください。(RAC地区委員は、2700地区委員と同等の権利と義務を所持します)

4.RACの会長は 地区主催の「PETS」に定められた方法で出席してください。

5.2700地区内RACは、下記の3つの形に分類し、支援クラブ・アドバイザー制度を設けます。(アドバイザーの役目は省略)

①独立型(企業型)RAC 柳川2020RACのような提唱クラブの無い型。「RAC」と「支援クラブ」・「アドバイザー」の連携により共存共栄を図る理想的なRAC。

②クラブ提唱型でクラブとの関係も良好で活動も活発な型。「RAC」と「支援クラブ」・「アドバイザー」・「クラブローターアクト委員会」の連携により、「衛星クラブ」として、独立運営が出来るよ

うに更に支援を進める。(提唱型クラブのRAが4人以下となり、その状態が3年続いた場合は、自動的に地区支援型RAとして、地区RA委員会はその手続きを行う)

③地区支援型でクラブが提唱できないような少人数又は1人や2人のRAを育てるために「RA」と「推薦クラブ」・「アドバイザー」に「2700地区RA委員会が支援する-地区支援型」のRACとします。1人からでもRAになることが出来ます。(地区内1クラブから推薦のRAが5人以上になる場合、クラブ内に「RA委員会」を設置し、クラブ理事会の決定によって提唱クラブとなる手続きをして下さい。

6.地区大会等に関する件

RAは地区主催の地区大会に出席する事は出来るが、参加人数、参加登録費等々はその都度、当事者間担当者の協議で決定する(簡略)。

7.金銭に関わる件は詳細に規定していますが(省略)します。

奉仕プロジェクトが果たす公共イメージ向上への役割

第3地域 公共イメージコーディネーター補佐

深尾 兼好(鹿児島西RC)

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、達成まであと一息。残り僅か2か国(アフガニスタンとパキスタン)となったが、完全撲滅には困難を極める。膨大な費用を要するが、日本国内でポリオはすでに忘れられた存在になっていて、ポリオに対する意識は低い。日本でも毎年ワクチンを接種し続けなければ、世界のどこかにポリオウイルスがある限り、その侵入による感染リスクがあるとされる。今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での「世界ポリオデー」イベントを企画、実施することが重点事項として取り上げられた。私の地区2730では、2750地区の宮崎陽市郎GEが宗谷岬から日本縦断「END POLIO Cycling Challenge 2750」を敢行され、佐多岬にゴールされるのをPRチャンスと捉え、「GOAL CEREMONY」を計画した。他人の禪で相撲を取るようで恐縮だが、マスコミ各社に働きかけ、その意義を説き取材の約束を取り付けた。地元の鹿屋市、南大隅町の関心も高く、多数の市民参加が期待できる。会場には巨大な「世界ポリオデー」の懸垂幕を設置、「END POLIO NOW」のPRコーナーも設ける。こういったイベントは全国一斉に実施する方が訴求効果も高く、正確なVI(Visual identity system)によってロータリーを印象づけることが可能となる。



【次ページへ】

また、振り返ると、昨年度は、「奉仕の実践」をスローガンとして日本中で「ロータリー奉仕デー」が実行された。その一つの重要なプロジェクトが「海岸美化プロジェクト」。世界中で増え続ける海洋ごみ。日本中が心を一つにして、海洋ごみ削減のためのアクションを起こす、という取り組みが市民の中で大きな反響を呼び、2730地区でも、海岸駐車場からはみ出す程のロータリアン、ロータリーファミリーと一般市民が集まり1.6キロの海岸で清掃活動を展開した。見た目は美しい白砂青松の海岸から想像もつかないゴミ300キロ余りを回収、専門家の分析に参加者はいちいち頷き、この取組の重要性をロータリアンと共有、プロジェクトの継続を誓いあった。

この他ロータリーの活動としては、地区補助金を活用した地域への貢献やグローバル補助金を使ったロータリーの重点分野への世界支援等、奉仕の機会は山ほどある。が、折角のこの機会を広くアピールすることなく、単に自己満足に終わらせているのが現状のようだ。公共イメージの向上に市民の共感を呼ぶ「奉仕プロジェクト」の実施・継続は欠かせない。ニュースのネタになる、市民の話題になるアプローチが、ロータリーを認知させ、プロジェクトへの共感が会員増強にも繋がる、と思うのだが。

第3地域ARRFCを拝命して

第3地域 財団地域コーディネーター補佐

駒井 英基(佐賀南RC)

昨年の7月にARRFCを拝命してはや1年半程度となります。

それまでも個人として財団への寄付も続けておりましたし、国際財団活動の一環にも携わらせておりました。しかし実際に担当地域の会員の皆様へ、貴重な浄財の積極的なご寄付を推進する役目となりますと、中々難しい状況もありました。昨年コロナ禍はまた完全には収まってはならず、つい最近まで例会の開催がなされていないクラブもありました。地域差はあるかもしれませんが、九州地区では、クラブ例会や財団セミナーなどがリアルで行えないと、実際に皆様方の寄付行為への熱意を高めることができず、寄付額が伸び悩んでおりました。財団セミナーをZOOM等用いて、補助金活動の原資は、地区内会員の皆様からの年次基金が直接反映していることなど、お話していたつもりですが、やはりリアルのセミナーでないと伝わりにくいのだと危惧いたしました。唯、九州内では各



地区に大口寄付をお願いさせていただきましたら、各財団委員長や委員会の皆様方のご協力も頂き、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)や冠名基金等に新たにご協力頂くことができました。これには感謝の気持ちでいっぱいです。今年の秋葉になりまして各地区の補助金セミナーや財団セミナーが再開されておりますので、私も参加させていただいて、年次基金の意味や大切さと恒久基金への寄付の目的の違い等を各クラブの代表の方に直接お話をさせていただいております。直接の効果が解るのは来年の7月以降ですが、粘り強くお話を続けてまいる所存です。



ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

第2640地区 会員数報告(2022年9月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	22.7.1	内女性	22.9月末	内女性	9月	内女性	累計	9月	内女性	累計		22.7.1	内女性	22.9月末	内女性	9月	内女性	累計	9月	内女性	累計
串本	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	松原	14	0	14	0	0	0	0	0	0	
那智勝浦	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	松原中	24	3	24	3	0	0	0	0	0	
新宮	49	2	50	2	0	0	1	0	0	0	美原	5	1	4	1	0	0	0	0	1	
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	8	0	8	1	0	0	0	0	0	
田辺	83	3	84	3	1	0	2	1	0	1	太子	17	1	17	1	0	0	0	0	0	
田辺東	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	富田林	34	0	34	0	0	0	0	0	0	
田辺はまゆう	27	5	31	6	0	0	4	0	0	0	泉佐野	19	0	21	0	0	0	2	0	0	
有田	26	1	26	1	0	0	0	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	
有田南	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	貝塚コスモス	11	3	11	3	0	0	0	0	0	
有田2000	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	関西国際空港	17	1	17	1	0	0	0	0	0	
御坊	39	3	38	0	0	0	0	1	0	1	岸和田	31	1	32	1	0	0	2	0	0	
御坊東	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	岸和田東	39	6	40	6	0	0	1	0	0	
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田南	7	0	7	0	0	0	0	0	2	
海南	9	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	
海南東	40	5	44	7	0	0	4	0	0	0	りんくう泉佐野	16	3	16	3	0	0	0	0	0	
海南西	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	15	1	15	0	0	0	2	0	1	
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	和泉	22	0	22	0	0	0	0	0	0	
和歌山	73	1	74	1	0	0	2	1	0	1	泉大津	44	3	44	3	0	0	1	0	0	
和歌山アゼリア	28	9	28	9	0	0	0	0	0	0	和泉南	57	2	57	2	0	0	0	0	0	
和歌山東	42	0	50	0	1	0	8	0	0	0	大阪金剛	13	1	12	1	0	0	0	0	1	
和歌山城南	37	1	35	1	0	0	0	2	0	2	高石	24	1	25	1	1	0	2	1	1	
和歌山中	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	高師浜	11	1	11	1	0	0	0	0	0	
和歌山北	29	1	32	1	0	0	3	0	0	0	堺	39	4	40	4	0	0	2	1	1	
和歌山南	70	4	74	6	0	0	4	0	0	0	堺東	16	2	16	2	0	0	0	0	0	
和歌山東南	35	5	35	5	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	23	3	0	0	0	0	0	
和歌山西	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0	堺中	20	3	20	3	0	0	0	0	0	
橋本	45	0	46	0	0	0	1	0	0	0	堺北	29	1	29	1	0	0	1	0	0	
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺おおいずみ	26	3	26	3	0	0	0	0	0	
河内長野高野街道	17	3	18	3	0	0	1	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	
粉河	16	1	15	1	0	0	0	1	0	1	堺清陵	22	4	22	4	0	0	0	0	0	
高野山	16	0	15	0	0	0	0	1	1	1											
羽曳野	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	ワールド大塚 ロータリーミクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	
河内長野	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0											
河内長野東	21	1	21	1	0	0	0	0	0	0	計	1,578	119	1,606	121	3	0	45	9	1	



クラブ数	2022年7月1日 会員数				2022年9月末 会員数				9月入会				9月退会				増減			
65	男性	1,459	女性	119	男性	1,485	女性	121	男性	3	女性	0	男性	8	女性	1	男性	-5	女性	-1
	1,578				1,606				3				9				-6			

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを！

2022-2023 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2022年10月26日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2022年10月26日	1,612	706	43.67%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	6	1	16.7%
那智勝浦	11	3	27.3%
新宮	50	16	32.0%
白浜	10	6	60.0%
田辺	84	50	59.5%
田辺東	37	10	27.0%
田辺はまゆう	32	10	31.3%
分区計	230	96	41.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
和歌山	75	51	68.0%
和歌山アゼリア	28	7	25.0%
和歌山東	50	34	68.0%
和歌山城南	36	10	27.8%
和歌山中	21	6	28.6%
和歌山北	33	16	48.5%
和歌山南	74	14	18.9%
和歌山東南	35	11	31.4%
和歌山西	9	1	11.1%
分区計	369	157	42.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	20	20	100%
河内長野東	21	2	9.5%
松原	14	8	57.1%
松原中	24	7	29.2%
美原	5	0	0.0%
大阪狭山	8	6	75.0%
太子	17	11	64.7%
富田林	34	20	58.8%
分区計	153	76	49.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	15	9	60.0%
和泉	22	5	22.7%
泉大津	44	19	43.2%
和泉南	57	10	17.5%
大阪金剛	12	10	83.3%
高石	25	10	40.0%
高師浜	11	8	72.7%
分区計	186	71	38.2%

目標達成 13クラブ

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ

2022-2023年度
登録率目標

65%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	26	14	53.8%
有田南	24	3	12.5%
有田2000	15	9	60.0%
御坊	38	14	36.8%
御坊東	14	7	50.0%
御坊南	15	5	33.3%
海南	8	5	62.5%
海南東	44	33	75.0%
海南西	16	1	6.3%
分区計	200	91	45.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	45	4	8.9%
岩出	24	7	29.2%
河内長野高野街道	18	10	55.6%
粉河	15	9	60.0%
高野山	15	8	53.3%
分区計	117	38	32.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
泉佐野	22	9	40.9%
貝塚	14	14	100%
貝塚コスモス	11	7	63.6%
関西国際空港	17	4	23.5%
岸和田	32	8	25.0%
岸和田東	40	25	62.5%
岸和田南	7	1	14.3%
KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
りんくう泉佐野	16	7	43.8%
分区計	167	79	47.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	41	12	29.3%
堺東	16	13	81.3%
堺泉ヶ丘	23	6	26.1%
堺中	20	5	25.0%
堺北	29	10	34.5%
堺おおいずみ	26	15	57.7%
堺フェニックス	6	5	83.3%
堺清陵	21	21	100.0%
分区計	182	87	54.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	6	75.0%

11月の行事予定表

日付	行 事	場 所
5(土)	地区大会	和歌山城ホール
6(日)	地区大会	ホテルグランヴィア和歌山
10(木)～11(金)	RLI研修 第4回 19:00～21:00	ZOOM
12(土)	ガバナー補佐・幹事合同会議 10:00～	けやきONE401
12(土)	クラブ情報規定委員長会議 13:30～15:30	シティイン和歌山
13(日)	IAC国内研修オリエンテーション	初芝橋本中高(予定)
23(水)	慶風高校認証授与式	
25(金)	RA委員会 18:00～	ガバナー事務所
27(日)	RA四地区交流会	大阪国際会議場



つながりを築いて、世界に変化をもたらそう



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー

第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640

FAX (073) 426-2660

e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分

阪和道、和歌山インターから約10分

